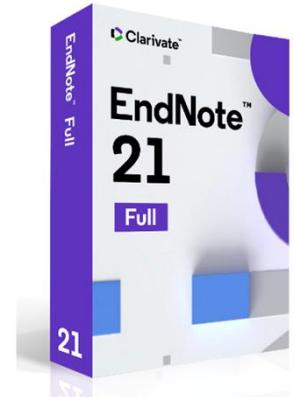


日本大学歯学部 様

EndNoteTM 21

説明会

本ウェビナーでは「EndNote21 for Windows」を使用いたします。



本日のご説明内容

- 1. EndNoteの基本機能**
- 2. EndNote 21の新機能**
- 3. EndNote Onlineについて**
- 4. ユサコの安心サポート & 無料トライアル**
- 5. 操作のデモンストレーション**
- 6. EndNote活用ヒント集**

EndNoteの基本機能

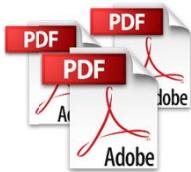


EndNoteでできること：3つの基本機能

1. 収集

Web of Science

医中誌 Web
Japan Medical Abstracts Society



学術データベースから文献情報を取得
フルテキストPDFからインポート



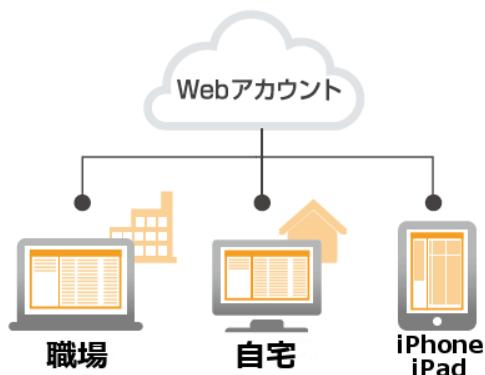
文献情報をカンタン取り込み・保存

2. 管理

閲覧・検索 グループ分け

編集・メモ PDF管理

PDF自動ダウンロード



自分専用の文献データベース構築
いつでもどこでもアクセス



必要な情報がすぐ見つかる

3. 出力

EndNote



参考文献リストを自動で作成・変更

ジャーナルフォーマット形式は8,000種類以上



1. Bonnett, C., et al., *Preventing Radial Artery Occlusion by Using Reverse Barbeau Assessment: Bringing Evidence-Based Practice to the Bedside*. Crit Care Nurse, 2015. 35(4): p. 77-82.

使用フローのイメージ

1. 収集



Web of Science™

CiNii Research

Google Scholar

EndNote Click

2. 管理

- マイライブラリ内で整理



Word



Excel



PowerPoint



Adobe Acrobat

3. 出力

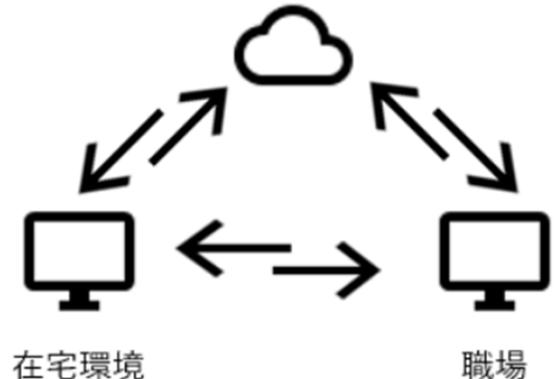
- 論文投稿
- 業績管理
- 学会発表



論文執筆にまつわる3つの悩み

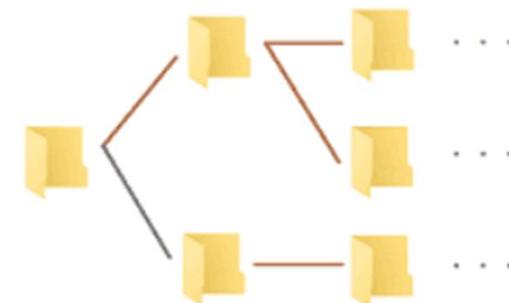
①データ共有に関する悩み

- 研究室、職場のPCに入っている文献などのデータが在宅環境に無い
- 在宅環境で作業した内容をそのまま研究室、職場でも引き継ぎたい



②文献収集・管理に関する悩み

- 文献を読む必要が増えたので効率的に読みたい
- PDFの保存場所がわからず、見つけるまで時間がかかる
- 内容の確認のためにPDFを一つ一つ開くのが大変
- 文献に関するメモなどを一元管理して効率的に読みたい



論文執筆にまつわる3つの悩み

③論文執筆に関する悩み

- 参考文献リストの作成に時間がかかる
- 査読後の修正で参考文献の入れ替えがあって大変
- システムティックレビューで数十～数百の文献を引用する
- リジェクトで参考文献リストの体裁の変更が必要

論文を書くにあたって、「参考にしたもの」、「引用したもの」は、文末に一覧表示しなければなりません。この一覧作成に、非常に時間がかかります。また、全く同じ論文を投稿するにも関わらず、引用を異なる表記にしなければなりません…

例)下記の論文を引用したとします。

論文タイトル: Effects of Dietary Administration of Plant-Derived Anthocyanin-Rich Colors to Spontaneously Hypertensive Rats

著者: Shindo, Kasai, Abe, Kondo

出典雑誌名: Journal of nutritional science and vitaminology [0301-4800]

発行年: 2007 卷: 53 号: 1 頁: 90-93

- これを「Nature」に投稿するには、

Shindo, M., Kasai, T., Abe, A. & Kondo, Y. Effects of dietary administration of plant-derived anthocyanin-rich colors to spontaneously hypertensive rats. *J. Nutr. Sci. Vitaminol. (Tokyo)* 53, 90-93 (2007).

- また、「Science」の場合は、

M. Shindo, T. Kasai, A. Abe, Y. Kondo, *J. Nutr. Sci. Vitaminol. (Tokyo)*. 53, 90 (2007).



EndNoteが
文献執筆にまつわるお悩みを
解決いたします！

EndNoteは文献管理・論文執筆もサポート

①場所を問わずアクセス可能

- 同期機能で**職場、自宅、外出先のどこからでも自分のライブラリにアクセス可能。**
- 常に最新のライブラリにアクセス可能。
- 文献に対するメモやコメントなども共有可能。

- ◆ **ライセンス所有者本人の個人利用に限り3端末までインストールが可能！**
- ◆ **無料iOS用アプリ「EndNote for iOS」でiPad・iPhone上でPDFの閲覧・編集、共有、引用が可能。**

②文献収集・管理

- 簡単な操作で、書誌情報とフルテキストPDFを取り込んで一元管理可能！**
- 取り込んだPDFの本文や入力したメモも検索対象なので、EndNote内でキーワードを検索するだけで、目的の文献がすぐ見つけられるので、**文献を探す手間を省くことができます。**

③参考文献リスト

- ドラッグ&ドロップでWord上に参考文献リストを簡単に作成することができます。**
投稿規定に沿った参考文献リストの体裁に変換可能！
- 引用文献の入れ替え、**順番の変更があっても、自動で修正可能。**
- リジェクトされても、次の投稿予定の雑誌名を選ぶだけで、**参考文献リストの体裁を簡単に変更できます！**

文献情報の共有機能

他のEndNoteユーザーと作成したライブラリを共有可能

- ・共有可能なユーザー数がこれまでの400名→1,000名まで拡大し
共有容量に制限なし
- ・共有相手ごとに編集権限（読み書き／読み取り専用）を設定可能
- ・共有ライブラリの編集履歴をアクティビティログで閲覧可能

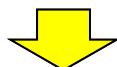
※共有相手もEndNote オンラインのアカウントが必要です。

※共有の方法は、EndNoteオンラインアカウントの登録Eメールアドレスを入力。

※EndNote の共有（Share）機能を使用して、他の EndNote ユーザーとの共同研究をシームレスに進めましょう：

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-12.html>

プロジェクト単位や研究室単位でEndNoteのライブラリを
効率良く共有できます



システムティックレビューにも使える機能です

EndNote 21の新機能



EndNote 21の新機能

最新版のEndNote 21はここが違う！

	X7	X8	X9	20	21
世界中の研究者に愛される文献管理・論文作成支援機能	○	○	○	○	○
蓄積したレファレンスを管理するための便利な機能					
ユーザーのライブラリが失われたり破損したりした場合にライブラリを復元					○
単一の参照レコードを復元					○
タグをつけ、ライブラリやグループ全体の参照を整理可能					○
Retraction Alertsでライブラリ内に撤回論文がある場合に自動で検知				○	○
DOIやPMCIDによる重複レコードの検索・削除				○	○
最近追加したレファレンスを、期間を指定して表示	※1	○	○	○	○
ライブラリ内検索で検索語句をハイライト	(※X7.1以上)	○	○	○	○

新機能：同期ライブラリ復元機能

ライブラリ全体が破損した場合でも復元可能

The screenshot shows the EndNote library history interface. On the left, there's a sidebar with navigation options like 'File', 'Edit', 'References', 'Sync Status', 'All References', 'Unfiled', 'Trash', 'MY GROUPS', 'Search for group', and categories for 'Bacterial genome', 'Cypovirus', 'GenBank', 'DNA Sequencing', 'Genetics', 'Animals' (with sub-options for 'Mammals', 'Insects', 'Giraffes'), 'Geography' (with sub-options for 'North', 'South', 'East'), and 'Imperial 2020'. There's also an 'ONLINE SEARCH' section with a '+' button. The main area is titled 'Library history' and lists changes made on specific dates. A 'Restore to this date' button is visible. To the right, a preview window shows a list of references with columns for 'Pages' and 'Edited'.

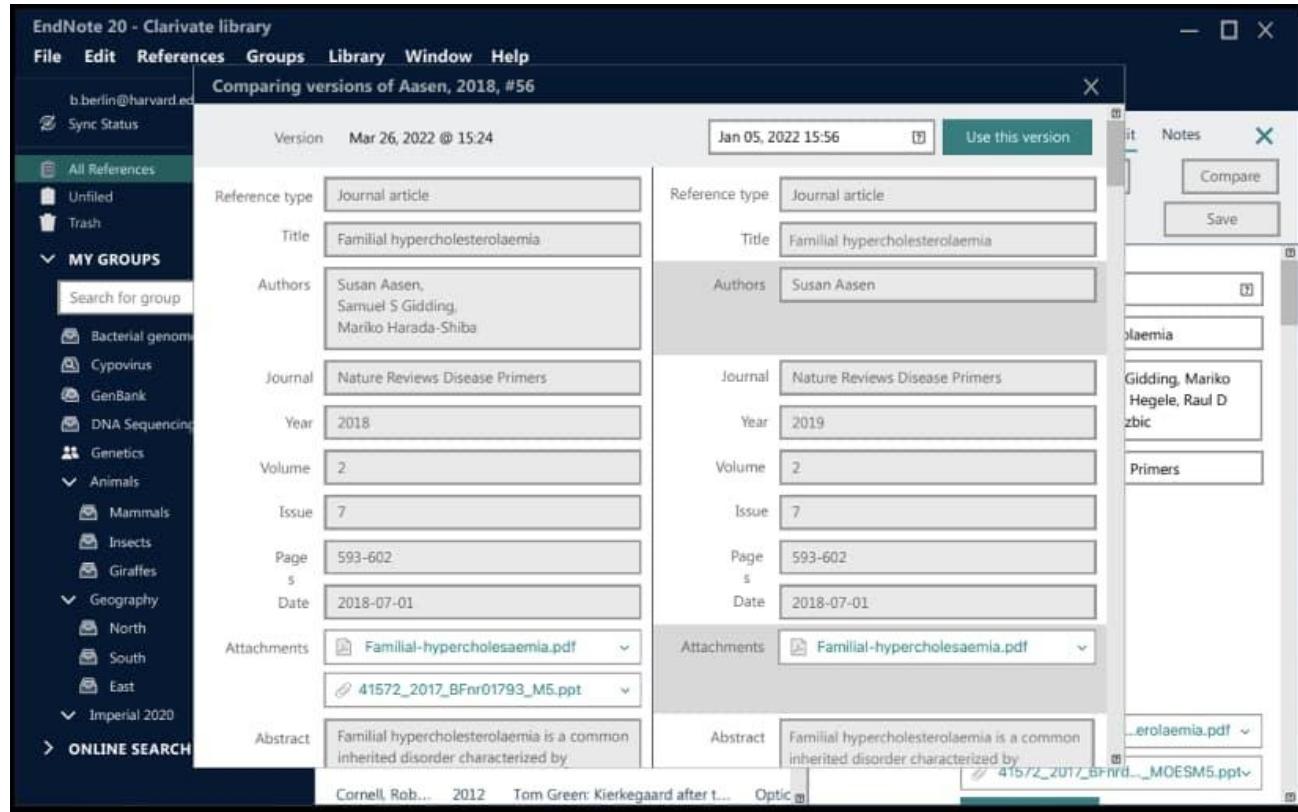
Pages	Edited
232	11/23/2018
42	11/23/2018
4	11/23/2018
2	11/23/2018
	11/23/2018
23	11/23/2018
4	11/23/2018
5	11/23/2018
355	11/23/2018
34	11/23/2018
3	11/23/2018
12	11/23/2018
223	11/23/2018
3	11/23/2018

同期を行っているライブラリデータが破損して開くことができなくなっても、最後に同期を実行した時点まで簡単にデータを復元することができます。

- ◆ 現在同期を行っているライブラリデータが対象です。
- ◆ 同期用ウェブアカウントの登録はこちら：
https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-04.html#st_02

新機能：シングルリファレンス復元機能

单一のレコードを復元すること機能です



同期を行っているライブラリに収録しているレコードに対して意図せぬ変更を加えてしまった場合、過去に同期をしたときの内容を確認しながらそのレコードの状態を戻すことができます。

- ◆ シングルリファレンス復元機能は最大 90 日前の状態まで戻すことが可能です。
- ◆ 同期したらライブラリのデータが削除されてしまう場合の対処法はこちら：
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/faq/41.html>

新機能：タグ機能

7種類のカラータグで文献管理が更に便利に！

The screenshot shows the EndNote application window. On the left, the sidebar displays 'takegami@usaco.co.jp' and several sections under 'MY GROUPS' and 'MY TAGS'. A red box highlights the 'MY TAGS' section, which contains five entries: '01_2001年～2010年', '02_2011年～2020年', '03_2021年～', '04_Style確認用', and '05_複数編集者'. Another red box highlights the 'Tags' menu item in the top navigation bar. The main pane shows a search interface with three search fields ('Author', 'Contains', 'And', 'Year', 'Contains', 'And', 'Title', 'Contains') and a table titled 'All References' listing 12 records. A red arrow points from the 'MY TAGS' sidebar to the color-coded tags next to the journal names in the table.

Reference Type	Author	Year	Title	Journal
Journal Article	Alexander, M.; Kim, ...	2020	Update 2020: Management ...	Lung
Journal Article	Bade, B. C.; Dela Cr...	2020	Lung Cancer 2020: Epidemi...	Clin Ches
Journal Article	Barroso, E.; Rodrig...	2011	The PPARbeta/delta activat...	Endocrin
Journal Article	Binder, E. B.; Bradle...	2008	Association of FKBP5 pol...	JAMA
Journal Article	Blinkouskaya, Y.; Ca...	2021	Brain aging mechanisms wi...	Mech Age
Journal Article	Goldstein, Y.; Cohe...	2024	Particle uptake in cancer cell...	Sy Adv
Journal Article	Haytoon, L.; Gund...	2019	Mediterranean fever gene v...	Expert Re
Journal Article	Pahade, J.; Couto, C...	2012	Reviewing imaging examin...	AJR Am J
Journal Article	Tournigand, C.; An...	2004	FOLFIRI followed by FOL...	J Clin Onc
Journal Article	Vasquez, V.; Krieg, ...	2014	Phospholipids that contain...	Cell Rep
Journal Article	Winter, H.; van den...	2011	Active-specific immunother...	J Thorac I
Journal Article	Yeghaian, M.; Tarec...	2024	Can blood-based markers p...	J Cancer I

様々なタグを使用し、ご自身のライブラリやグループ内のレファレンスをより分かりやすく整理することができます。

また、ライブラリに収録（保存）したレコードにタグを付け、グループとは別に文献を分類することができます。

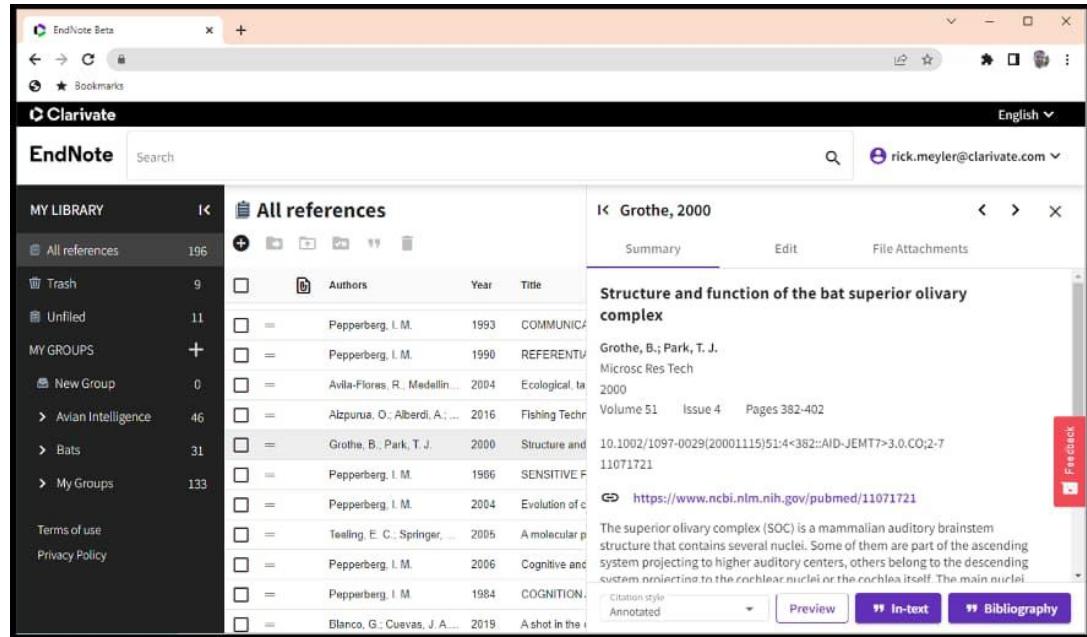
- ◆ タグは 1 つのライブラリに対して 5,000 個まで作成することが可能。
- ◆ 上記 5,000 個の範囲内で、1 つのレコードに付けることができるタグの数は無制限。
- ◆ レコードにカラータグをつける方法：

<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/quick-reference/21/035.html>

新機能：新しくなったEndNote Web

※デスクトップ版に付随するOnlineサービスです。

EndNote をインストールしていない端末からも データを閲覧することが可能



これまで提供していたオンラインサービス EndNote online (basic) からリニューアルされ、より EndNote 21 のインターフェイスに近い画面構成になりました。現在は EndNote 21 ユーザーのみがアクセス可能です。

- ◆ EndNote WEBの詳細：
https://www.usaco.co.jp/endnote/endnote_web2.html?srsltid=AfmBOorMNT8WnWvDsV0K0TBt_5cAJA5FIALYhQSBZADqg1V7yD9elhP0
- ◆ ウェブアカウント登録日から3年間アクセス可能。
- ◆ 現時点で未実装の機能あり。
今後適宜実装予定。

EndNote Onlineについて



EndNote Onlineと呼ばれるもの

3種類のonline版が存在します

① EndNote basic

- ・利用期間：期限なし
- ・価格：無償
- ・利用するには：個人でWebユーザー登録を行う

② EndNote Online (WoS導入機関)

- ・利用期間：最後に機関内IPアドレス経由でログイン後、1年間
- ・価格：WoS契約に含まれる
- ・利用するには：Webでユーザー登録を行う(WoS導入機関内)

③ EndNote Web

- ・利用期間：容量無制限で利用できる期間は登録後3年間(EndNote 21より)
- ・価格：デスクトップ版に付属
- ・利用するには：デスクトップ版からWeb登録

EndNote basic

EndNote basic

メールアドレスを登録するだけで文献管理・参考文献リスト作成を始める事ができる、**日本語対応のWebサービス**です。

EndNoteのデスクトップ版と比べて、利用できる機能は限定されていますが、論文を書き始めたばかりの研究者や学生には、導入版として最適のツールです。

収集

- ・インターネット上で検索した文献情報を、ウェブ上の個人ライブラリに保存可能。
- ・Web of Science、PubMed等のオンラインデータベースから書誌情報を、簡単に取り込み可能。
- ・EndNote Capture Reference Toolを使用して、Webページや書籍の情報を簡単に取り込み可能。
- ・50,000件のレコード、2GBまでの添付ファイルが保存可能。

管理

- ・無料アプリEndNote for iOSを利用して、iPad・iPhoneから文献情報の表示・編集・整理・共有が可能。
- ・他の EndNote/EndNote Online(basic含む)ユーザーとの情報共有にも便利。

出力

- ・論文作成の際には、Word上でクリックするだけでEndNoteライブラリから文献を引用可能。
- ・**搭載された 21種類のアウトプットスタイル**を使って、引用された文献の参考文献リストを自動的に投稿規定に合わせて作成可能。

EndNote、EndNote Online 機能比較

ユサコ株式会社			
	DESKTOP	IB EndNote Web	無償 EndNote basic
形態	ソフトウェア	デスクトップ版付属のオンラインアカウント(EndNote Online)	Webサービス
利用期間	期間なし	添付容量無制限で利用できる期間：登録後2年間	最後に複数回IPアドレス経由でログイン後1年間
利用方法			
価格	有償	デスクトップ版に付属	WoS+契約に含まれる
データの保存場所	個人PC		開発元サーバー
利用するには	挿入	デスクトップ版からアカウント登録	Webでユーザー登録(WoS導入機関内)
論文作成の支援機能			
ドラッグ＆ドロップでの引用	◎	X	
使用可能なスタイル数	◎ 約4,000種以上	○ 約200種以上	△ 21種
スタイルの追加・編集	◎	X	△ (変更は不可。 追加は販売者のみ可)
参考文献リストの 著者名出力制御 (フル、省略形ピリオド有無)	◎	X	
収録レコード件数	制限なし (収録10万件)	制限なし (収録10万件)	50,000件
文献データの読み込み			
ダイレクトインポートの スタイルフォーマット数	700種以上	50種以上	4種
外部データベースの オンラインサーチ	6,000種以上	1,600種以上	4種
PDFからの書誌データ作成	○ (裏DOI)	X	
PDFやファイルの管理			
ファイルの容量	◎ 制限なし	◎ 制限なし	△ (2GBまで)
書誌データから PDF自動ダウンロード	◎	X	
添付したPDF本文の横断検索	◎	X	
添付したPDFのリンク	◎	X	
ユーザー間での共有			
データの共有	◎ 400名まで共有可	○ グループ単位の共有可 (※添付ファイルは除外)	
環境			
オフライン作業	○	X	
処理速度	◎	△	
インターフェース	英語	多言語対応可(日本語も可)	
サポート	国内総代理店ユサコ	Clarivate Analytics(日本法人有)	

*WoSとはWeb of Scienceの略称で、EndNoteの開発元 Clarivate Analyticsが提供している学術文献データベースです。

- EndNote Online basic [クイックレファレンスガイド](#)
- EndNote Online basic [オンラインヘルプ](#)
- EndNote Online basic [よくある質問集](#)

ご注意いただきたい点

- 50,000件のレコード、2GBまでの添付ファイルが保存可能。
- グループセットが作成できません。(グループは作成可能)
- アウトプットスタイルは21種類のみ

全ての機能を使うならデスクトップ版

- デスクトップ版なら **添付容量無制限*** で全ての機能を使用できます。
(*添付容量無制限期間は原則登録後3年間です。)
- **8,000種を超えるアウトプットスタイル**、書誌情報からのPDFの自動ダウンロードや、直感的に操作できるインターフェースなどより便利な機能が搭載されています。
- **デスクトップ版はオフライン環境でも使用できる**ので、通信ができない環境でも文献を参照したり、引用が可能です。

- ◆ EndNote Onlineの詳細：https://www.usaco.co.jp/endnote/endnote_web.html

※ユサコの安心サポートはデスクトップ版を購入された方が対象です。

ユサコの安心サポート & 無料トライアル



EndNote 画面共有サポート

※デスクトップ版を購入された方が対象です。

■ 画面共有サポートとは

- お客様のPCに表示されている画面をサポート担当者が一緒に確認しながら、EndNoteの操作に関する様々なお問合せにお答えするサービス。
- 画面を共有していただくことで状況の把握がカンタンになり、従来の電話やメールサポートよりも効率的にお問合せに対応可能
- Web会議システムは、Zoom、Google Meetいずれかを使用。

■ こんな方に向いています

- 対話しながらサポートを受けたいという方
- 文章や口頭では伝えづらいお問合せをしたい方
(本サポートは弊社への会員登録とシリアル番号登録済みの方が対象です。)



重要：ユーザー登録はこちら

ご利用にはユーザー登録が必要です。
ご登録の手順はこちら：

<https://www.usaco.co.jp/endnote/registration.html>

画面共有サポートお申込はこち：
<https://www.usaco.co.jp/endnote/remote-support.html>

その他サポート

※デスクトップ版を購入された方が対象です。

- ・メールによるお問い合わせ対応
- ・FAQ (Q&A検索等)
- ・会員特典コンテンツダウンロード (操作ガイド等)
- ・**EndNoteのアウトプットスタイルの作成**

[EndNoteユーザー専用 Output Style](#)

- ・EndNote使用ヒント集

EndNote サポートお問合せはこちら
(操作方法・FAQ・画面共有サポート等) :

<https://www.usaco.co.jp/endnote/inquiry.html>

クイックリファレンスガイドははこちら :

<https://www.usaco.co.jp/endnote/manual.html>

Web無料セミナー受講お申し込みははこちら :

<https://rs.usaco.co.jp/seminar/>

EndNote使用ヒント集

- » EndNoteのグループ機能を活用してみよう

1つのライブラリに多くの文献を取り込んでいると、必要な文献がすぐに見つからないということはありませんか？そんなときにはEndNoteのグループ機能を活用してみましょう。

- » ライブラリ内のレコードにメモを付ける

EndNoteではレコードの書誌情報にメモを残しておくことができます。論文の気になった点をメモに残したり、検索用にタグ付け感覚でキーワードを入れたりと、様々な使い方が可能です。

EndNote よくあるご質問

どのようなことでお困りですか？

当社に寄せられる EndNote に関するご質問のなかで、よくあるものを掲載しています。
このページでご希望の情報が見つからない場合は、Q&A検索 からキーワード検索を行ってみてください。

お知らせ

【不具合報告】EndNote 20.3 for Macintosh でレコードにファイルを添付できない不具合について

アウトプットスタイル

- EndNote に希望のジャーナルの引用出力形式（アウトプットスタイル）がない場合
- EndNote 上で利用する引用出力形式（アウトプットスタイル）

インストール・アップデート

- EndNote 20 Windows版 インストール方法及び注意事項
- EndNote 20 Macintosh版 インストール方法及び注意事項
- EndNote X9 Windows版 インストール方法及び注意事項

30日間無料トライアル

EndNoteの基本機能を30日間お試し可能(共有は不可)

- ・製品購入後プロダクトキーを入力するだけで製品版に移行可能
- ・作成したデータは、正規製品にそのまま引き継ぐことができる
- ・トライアル期間終了後は各種機能に制限が設けられる

お申込みはこちら：<https://www.usaco.co.jp/endnote/demo.html>



注意トライアル版ご利用上の注意

- ・現在旧バージョンの EndNote をご利用の方は、必ずライブラリのバックアップを作成してからご利用下さい。
- ・弊社は、トライアル版ソフトの使用により、お客様または第三者が被った直接的または間接的ないかなる損害についても責任を負いません。
- ・弊社の許可なく、本プログラムの一部またはすべてについて、販売もしくは配布を行うことはできません。
- ・各機能を詳細に解説している日本語操作ガイドは、製品購入後、登録ユーザー専用ページにログインすると閲覧できるようになります。
(※ご利用になるにはユーザー登録が必要です。)
- ・CDではなくダウンロードしてお使いいただく仕様になります。

デモンストレーション

Online版

1. PubMedなどから文献情報を取込む(収集)
2. グループ機能、タグ機能(管理)
3. 投稿規定に合わせた参考文献リストの自動作成(出力)

デスクトップ版

1. PC内のPDF や PubMedなどから文献情報を取込む(収集)
2. グループ機能、タグ機能(管理)
3. 投稿規定に合わせた参考文献リストの自動作成(出力)

EndNote活用ヒント集

- ① **PubMed のウェブページから文献情報を取り込む方法**
<https://www.usaco.co.jp/faq/detail.html?pdid1=186>
- ② **医中誌Web から文献情報を取り込む方法**
<https://www.usaco.co.jp/faq/detail.html?pdid1=97>
- ③ **Web of Science から文献情報を取り込む方法**
<https://www.usaco.co.jp/faq/detail.html?pdid1=66>
- ④ **Google Scholarから取り込む方法**
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/faq/69.html>
- ⑤ **論文を分野ごとにフォルダに保存したい場合**
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-01.html>
- ⑥ **文献管理機能の詳細について**
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/what-is-endnote/reference-management-2.html>
- ⑦ **参考文献を自動で作成してくれる機能の詳細について**
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/what-is-endnote/bibliography.html>
- ⑧ **和訳と一緒に載せたい場合**
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-02.html>

EndNote活用ヒント集

- ⑨ 万一に備え、ライブラリデータのバックアップを作成する
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-03.html>
- ⑩ ライブラリ内のレコードにメモを付ける
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-02.html>
- ⑪ 同期・共有機能について
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/what-is-endnote-sync-share.html>
- ⑫ EndNote for iOSを始める
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-06.html>
- ⑬ 書籍の情報を取り込む
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-07.html>
- ⑭ エクセルに文献情報を出力する
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-08.html>
- ⑮ EndNoteをシステムティックレビューに活用する
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-09.html>
- ⑯ ライブラリ内の重複文献を削除しよう
<https://rs.usaco.co.jp/product/endnote/tips/tips-10.html>

EndNote 2025のリリースについて(告知)

バージョン名はEndNote 2025です

EndNote 2025の新機能

AI Key Takeaways

個々の論文から主要な洞察と要点を抽出するAIが搭載され、研究の発見を強化します。
論文の内容を迅速に把握し、文献調査の時間節約をサポートします。

Find A Journal

Cite While You Write プラグイン内で利用可能な機械学習ツールで、論文に最適なジャーナルを提案します。
論文投稿プロセスにおいて、適切なジャーナルを効率的に見つけるのに役立ちます。

Cite from a PDF

参考文献(PDF)につけた強調表示とその参考文献の引用を、ボタンをクリックするだけで作成中の論文に挿入できます。
PDFを直接参照しながら執筆する際の引用作業が大幅に効率化されます。

Web of Science Citing Articles and Related Records

Web of Science の契約がある場合、自身の参考文献を引用している論文や関連性の高い文献を確認できるようになり
より包括的な文献調査が可能になります。新たな関連文献を発見し、研究の幅を広げるのに役立ちます。

EndNote 2025 発売予定と無償アップグレードについて

ご清聴ありがとうございました

研究を通じて、社会に貢献する。
Drive Your Research.

